

| プロトコール名 | | 1クールの日数 | 放射線治療 |
|----------------------|--|---------|---------|
| 食道癌 Nivolumab + FP療法 | | 28日 | ■なし □あり |
| 投与日 | 薬品名(※赤字は抗がん薬) | | |
| 第0日目 | ① ラクテック注 500mL ② ラクテック注 500mL ③ ラクテック注 500mL | | |
| 第1日目 | ① 生食50mL(フライング用) ② 生食100mL + オプジーボ480mg 体重30kg未満の場合、総液量100mL以下とする。 投与時は0.2又は0.22 μ mインラインフィルター使用。 ③ 生食50mL(フラッシュ用) ④ 生食1000mL + KCL注キット20mEq + 硫酸Mg補正液1mEq/ml 8mL ⑤ 生食50mL(フラッシュ用) ⑥ グラニセトロン1mgバッグ + デキサート9.9mg + アロカリス235mg ⑦ 生食50mL(フラッシュ用) ⑧ マンニトールS 100mL ⑨ 生食300mL + シスプラチン80mg/m2 要遮光 ⑩ 生食500mL + フルオロウラシル800mg/m2 ⑪ 生食1000mL + KCL注キット20mEq + 硫酸Mg補正液1mEq/ml 8mL 側管より投与 | | |
| 第2-4日目 | ① 生食500mL + フルオロウラシル800mg/m2 | | |
| 第5日目 | ① 生食500mL + フルオロウラシル800mg/m2 ② 生食50mL(フラッシュ用) | | |
| コメント | | | |

| プロトコールに関する解説 |
|--|
| <p>本療法は、食道癌で有効性が示された治療法です。臨床試験により、切除不能・再発食道癌患者の1次治療としての、ニボルマブ+化学療法(FP)、ニボルマブ+イピリムマブ療法の有効性が示されました。グレード3以上の治療関連有害事象はニボルマブ+化学療法群の47%、ニボルマブ+イピリムマブ群の32%でみられています。</p> |